

(平成24年5月分)

部 門	市況の概要
野 菜	<p>5月期の野菜の入荷状況は、根菜類では、ダイコンが低温の影響から作柄が悪く入荷減となる一方、西洋ニンジンでは、前月の低温による生育遅れ分の出荷が増加傾向となり入荷増となった。葉菜類では、多くの品目で低温による生育遅れで入荷減となった。果菜類では、多くの品目で上旬は生育期の低温によりやや少ない入荷であったが、中旬以降は好天により順調な入荷となり月全体では入荷増となった。土物類では、バレイショが低温の影響で入荷が遅れていたものと後続産地の入荷が重なり入荷増となった。一方、タマネギは、低温の影響から作柄が悪く入荷減となった。野菜全体の入荷量は、前年同期並みとなった。</p> <p>価格は、葉菜類で入荷減による単価高、果菜類で上旬の入荷減及び前年単価安により単価高となった。根菜類では西洋ニンジン、土物類ではバレイショが入荷増の単価安となったものの、それ以外では入荷減の単価高となった。野菜全体としては前年同期を16%上回った。</p> <p>品目別には、長ダイコン、ハクサイ、キャベツ、ホウレンソウ、タマネギが入荷減の単価高、西洋ニンジン、バレイショが入荷増の単価安、レタス、トマトが入荷並の単価高、キュウリ、ナス、ピーマンが入荷増の単価高となった。</p> <p>根菜類は、入荷が6%減少し、価格は23%高となった。 葉菜類は、入荷が6%減少し、価格は40%高となった。 果菜類は、入荷が8%増加し、価格は23%高となった。 土物類は、入荷が6%増加し、価格は19%安となった。</p>
果 実	<p>5月期の果実の入荷状況は、柑橘類では一部品目で天候不順による作柄不良が見受けられるものの低温貯蔵物の残量が多く入荷増、スイカ類では中旬以降の好天により作柄良好であったことから入荷増となった。天候不順による作柄不良のイチゴ類・メロン類、産地での流通在庫が少ないリンゴ類では入荷減となった。果実全体の入荷量は、前年同期を8%下回った。</p> <p>価格は、柑橘類では前年並み、リンゴ類・イチゴ類・メロン類では、入荷減により単価高となった。スイカ類では、月全体で入荷増ながら、上旬の品薄による高値を中旬以降も維持し、単価高となった。果実全体では、前年同期を13%上回った。</p> <p>品目別には、甘夏柑、ふじりんご、イチゴ、アンデスメロンが入荷減の単価高、アールスメロンが入荷増の単価高、大玉スイカが入荷並の単価高となった。</p> <p>柑橘類は、入荷が15%増加し、価格は前年並みとなった。 りんご類は、入荷が26%減少し、価格は51%高となった。</p>

	<p>イチゴ類は、入荷が7%減少し、価格は8%高となった。 メロン類は、入荷が22%減少し、価格は17%高となった。 スイカ類は、入荷が5%増加し、価格は14%高となった。</p>
--	--

主要品目（野菜）	市況の概況
<b>【根菜類】</b> 長ダイコン	<p>長崎県を中心に千葉県，鹿児島県，岡山県，香川県からの入荷。            主力の長崎県で，低温の影響から作柄が悪く全体の入荷量は前年同期を12%下回った。            価格は，入荷減により前年同期を65%上回った。</p>
西洋ニンジン	<p>徳島県を中心に，長崎県，兵庫県，中国，鹿児島県からの入荷。            前月の低温による生育遅れ分の入荷が増加傾向となり，全体の入荷量は，前年同期を13%上回った。            価格は，入荷増により前年同期を5%下回った。</p>
<b>【葉菜類】</b> ハクサイ	<p>茨城県を中心に，熊本県，大分県，長崎県，長野県からの入荷。            主力の茨城県産で天候不順の影響から作柄が悪く，全体の入荷量は前年同期18%下回った。            価格は，入荷減により前年同期を24%上回った。</p>
キャベツ	<p>兵庫県を中心に，京都府，愛知県，鹿児島県，神奈川県からの入荷。            各産地ともに低温による生育遅れと小玉傾向の入荷であったことから，全体の入荷量は，前年同期を5%下回った。            価格は，入荷減であったこと，また，加工・業務需要の増大により前年同期を104%上回った。</p>
ホウレンソウ	<p>岐阜県を中心に，京都府，滋賀県，茨城県，奈良県からの入荷。            主力の岐阜県産で低温による生育遅れのため，全体の入荷量は，前年同期を3%下回った。            価格は，入荷減により前年同期を16%上回った。</p>
レタス	<p>長野県，兵庫県を中心に，茨城県，岡山県，長崎県からの入荷。            主力の長野県産で低温による生育遅れで出荷開始が遅れたものの，中央集散機能の発揮により，全体の入荷量は前年同期並みとなった。            価格は，前年が安値であったことから前年同期を62%上回った。</p>
<b>【果菜類】</b> キュウリ	<p>宮崎県，高知県，滋賀県を中心に，福岡県，徳島県からの入荷。            多くの産地で上旬は，生育期の低温によりやや少ない入荷であったが，中旬以降は好天により順調な入荷となった。全体の入荷量は，前年同期を5%上回った。            価格は，前年が安値であったことから，前年同期を3%上回った。</p>

ナス	<p>高知県、岡山県を中心に、滋賀県、徳島県、京都府からの入荷。多くの産地で中旬以降の好天により順調な入荷であったことから、全体の入荷量は、前年同期を8%上回った。</p> <p>価格は、前年が安値であったことから、前年同期を9%上回った。</p>
トマト	<p>熊本県を中心に、福岡県、三重県、京都府、奈良県からの入荷。各産地ともに小玉傾向であったものの、中旬以降の好天により順調な入荷となった。全体の入荷量は、前年同期並みとなった。</p> <p>価格は、前年が安値であったことから、前年同期を54%上回った。</p>
ピーマン	<p>宮崎県を中心に、高知県、茨城県、韓国、熊本県からの入荷。各産地ともに好天により順調な入荷であったことから、全体の入荷量は、前年同期を8%上回った。</p> <p>価格は、前年が安値であったことから、前年同期を51%上回った。</p>
<p><b>【土物類】</b> バレイショ (メーカー含む)</p>	<p>長崎県を中心に、鹿児島県、熊本県、北海道、静岡県からの入荷。</p> <p>多くの産地で、低温の影響から小玉傾向であったものの、主力の長崎県産のピークと後続産地の静岡県産の入荷が早まり、入荷が重なったことから、全体の入荷量は、前年同期を27%上回った。</p> <p>価格は、入荷増であったこと、小玉傾向による単価安であったことから、前年同期を51%下回った。</p>
タマネギ	<p>兵庫県を中心に、佐賀県、長崎県からの入荷。</p> <p>主力の兵庫県産で低温の影響から作柄が悪く、全体の入荷量は前年同期を7%下回った。</p> <p>価格は、入荷減により前年同期を48%上回った。</p>
<p><b>【その他野菜】</b> 生シイタケ</p>	<p>徳島県を中心に、北海道、広島県、和歌山県、岡山県からの入荷。</p> <p>北海道産、広島県産の入荷増により全体の入荷量は、前年同期を14%上回った。</p> <p>価格は、入荷増により前年同期を9%下回った。</p>

主要品目（果実）	市況の概況
甘夏柑	<p>愛媛県を中心に広島県，熊本県，福岡県，和歌山県からの入荷。          昨秋の台風・降雨の影響による作柄不良と前月の前進出荷により全体の入荷量は，前年同期を14%下回った。          価格は，入荷減により前年同期を3%上回った。</p>
ふじ (サン含む)	<p>青森県からの入荷。          産地での流通在庫が少ない状況となっているため入荷量は，前年同期を29%下回った。          価格は，入荷減により前年同期を55%上回った。</p>
イチゴ	<p>福岡県を中心に，大分県，熊本県，佐賀県，長崎県からの入荷。          多くの産地で，天候不順による着色不良または収穫の終了を迎えることにより，全体の入荷量は，前年同期を7%下回った。          価格は，入荷減により前年同期を8%上回った。</p>
アールスメロン	<p>熊本県，静岡県を中心に，高知県からの入荷。          多くの産地で高齢化により栽培面積の減少が見られるものの，中央集散機能により入荷量は，前年同期を19%上回った。          価格は，前年が安値であったことから前年同期を7%上回った。</p>
アンデスメロン	<p>熊本県を中心に茨城県からの入荷。          主力の熊本県産で天候不順による着果不良から入荷量は，前年同期を32%下回った。          価格は，入荷減により前年同期17%上回った。</p>
大玉スイカ	<p>熊本県を中心に，長崎県，高知県からの入荷。          各産地とも上旬は，生育期の天候不順により少ない入荷であったが，中旬以降は好天により順調な入荷となった。全体の入荷量は，前年同期並みとなった。          価格は，上旬の品薄による高値を中旬以降も維持し，前年同期を12%上回った。</p>